

## 議 事 録

会議名	令和7年度第2回豊山町学校給食アレルギー対応検討委員会	
年月日	令和8年3月19日(木)	
時間	午後2時～午後2時55分	
出席者	委員	委員長 上原 正子(学識経験者) 副委員長 野崎 千佳(N.キッズファミリークリニック) 委員 杉 直哉(豊山小学校校長) 委員 竹内 哲子(豊山中学校養護教諭) 委員 渡邊 志保(豊山小学校栄養教諭) 委員 伊藤 竜児(西春日井広域事務組合消防本部) 委員 後藤 祥子(保護者代表者)
	事務局職員	教育長 伊藤 圭樹 教育委員会事務局長 小塚 和宣 給食センター所長 牛田 彰和
欠席者	なし	
協議事項	1 教育長挨拶 2 委員長挨拶 3 議題 (1) アレルギー対応の実施状況について (2) 豊山町立小中学校 学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの見直しについて (3) 意見交換 4 その他	
議事内容		
司会	<p>本日はお忙しい中お集まりをいただきましてありがとうございます。ございます。</p> <p>本日の進行を務めます給食センターの牛田です。よろしく願いいたします。</p> <p>本日の会議録につきましては、発言者の名前を除いて、町のホームページに公開をさせていただきますので、ご承知おきください。</p> <p>また本日の資料で、今日お配りした資料1別紙につきましては、委員会終了後に回収させていただきますのでよろしく願いいたします。</p> <p>ただいまから、令和7年度第2回学校給食アレルギー対応検討委員会を開催いたします。</p>	

	<p>初めに、教育長からご挨拶を申し上げます。</p>
教育長	<p>改めましてこんにちは。</p> <p>今日、午前中に町内小学校3校の卒業式がありました。委員の中にも、豊山小学校の杉校長がいます。私は志水小学校へ出向きましたが、とても感動的な卒業式でした。</p> <p>立派に本町の3小学校の6年生が巣立っていきましたので、ご報告をさせていただくとともに、尊い命をこの給食のアレルギー対応も含めて守り切っていただいて、今日の卒業式を迎えることができたことに対し、改めてアレルギー対応検討委員会の委員の皆様方には、お礼を申し上げたいと思います。</p> <p>今日は1年間のアレルギー対応の状況の報告や、来年度の取り組み、一部アレルギー対応マニュアルの改正がございます。そのご説明をさせていただくとともに、委員の皆様方から忌憚のないご意見をいただき、さらに豊山の小学校、中学校の子供たちのアレルギー対応についてより良いものにしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
司会	<p>ありがとうございました。続きまして、上原委員長からご挨拶をいただきます。</p>
委員長	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>今、教育長からお話がありましたように、この1年間、食物アレルギーについては事故もなく無事にすんだのではないかと考えています。</p> <p>他県での色々な例を見ておりますと、食物アレルギーは子供にとってすごく重要なことです。課題は二つあると思います。一つは、提供する学校給食を子供たちは選ぶことはできないということです。ですから、その食材の管理がとても重要になります。思い込みでこの食材はこういう食品だからこうした成分が入っているだろうという、思い込みで進んではいけないということが、色々な事例で分かってきています。例えば、スイートコーンの缶詰であってもコーンだけでできているという思い込みがあり、事故が起きたりする例もあります。ですので、スイートコーンと書</p>

	<p>いてあってもコーンだけと思うことが危険であると思わなければいけない、ということです。</p> <p>もう一点は、起きてしまったときの対応について、その関わる先生方、保護者、周りの大人がいかに知識を持っているかが重要だと思います。事故が起きたとき、周りの大人がどういう対応をしたらいいのか、皆さんがご存知だということがとても大切なことだと思っております。この二つがアレルギー事故に対する重要な部分だと思います。</p> <p>今日も色々な議題が用意されておりますので、是非ご意見いただきたいと思っております。よろしくお願いたします。</p>
司会	<p>それでは議題に入ります。</p> <p>これより会議の取り回しは上原委員長にお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、議題（１）の「アレルギー対応の実施状況について」事務局より座ったままご説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【資料１に基づき説明】</b></p>
委員長	<p>ただいまの事務局の説明についてご質問とかご意見があればお願いします。</p>
委員	<p>中学校が１人減ったのは、卒業による減少ですか。</p>
事務局	<p>アレルギーを持っていた子が卒業によって減少したものです。</p>
委員長	<p>治ったわけではないということですね。</p> <p>令和８年度のアレルギー除去食の実施予定は、５月だけが書かれていて、（２）にあるとおり、今後は月３回程度ということよろしいですか。</p>
事務局	<p>はい。６月以降の除去食につきましては、月に３回程度の提供を考えております。</p>
委員長	<p>資料１の別表にありますが、カシューナッツの検査は、はっきり分かるのですか。アレルゲンもだんだん細かくなってきていますね。</p>
委員	<p>カシューナッツは調べることができます。検査は色々あ</p>

	<p>りますが、不明な場合は最終的には食べてみるしかないです。ある程度食べても大丈夫かどうか、食べる検査をしてもいいかどうか、抗体を調べたりしています</p>
委員長	<p>本当に複雑になってきたようなイメージです。他にご意見はありますか。無いようですので、次に移ります。</p> <p>議題（２）の「豊山町立小中学校 学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの見直しについて」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【資料２に基づき説明】</b></p>
委員長	<p>ただいまの説明についてご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>前年度を希望する・希望しないということですが、校長先生や教頭先生の時間が取れず大変である、ということを以前の委員会で聞いた気がしますが、その辺はいかがですか。</p>
委員	<p>学校によって人数がかなり違います。豊山小学校は非常に多くいまして、何とかやってきてはいましたが、負担軽減という意味で、アレルギー症状が変わらないのであれば、前年度の面談実施でもいいという流れで来ていると思います。</p>
委員	<p>面談には管理職の先生も一緒に出る必要があるが、日程的に大変だと話されていたと思います。アレルギー対応が前年度と同じであれば、管理職の先生が面談にいなくてもあまり気にならないと考えます。先生たちも業務が過多にならないように考えられたと思います。</p>
委員	<p>多少、改善はされたので、負担軽減に繋がり、よかったと思っています。</p>
事務局	<p>補足ですが、人数を見ても、豊山小学校は突出して面談者数は多いです。そういった状況も踏まえて、安全性を確保しつつ、基本的には学校の管理職の方も出席していただきますが、全くアレルギー対応が変わらない子供については、管理職の出席を省略しています。あと、前倒しも今年度から実施をしており、中学校も含めて全部で10人です</p>

	が、それでも、4月に43人全員を面談するのではなく、10人を2月に、残り33人を4月に行うということで、その辺も、安全を踏まえつつも緩和できたのではないかと考えております。
委員長	少しでも緩和できたということですね。豊山小学校は、新しい1年生も結構いるのですね
委員	結構います。
委員長	一番の①は先回議論していただいたものですので、これで進めていきたいと思えますし、②も保護者宛の文書の中にこういう文言を入れていくということですね。
事務局	そうです。
委員長	これどうですか、委員、これぐらいでどうでしょう。
委員	はい、素晴らしいと思います。  ちなみにエピペンの取り扱いについて、本年度、当署で受付を始めていますが、4月当初とか、年度末に受け入れができないという経験をされた方が何件かあったと思います。当署としても、なるべく学校給食が始まる前に何とかエピペンの取扱いは訓練の受け入れをしていくべきではないか、という話を受付が始まってからしています。学校からの申請に限る形になってしまうとは思いますが、なるべく保護者の方が安心してお子様を預けるような形で、当署としても対応していきたいと思っています。
委員長	1年に1回は実施をしているということですね。学校の方も大変でしょうけど。先生方も異動があったりしますね。
委員	ですので、4月の当初の時期にやっています。
委員長	新しい新任の方は学校で学んでいますよね、エピペンについて。
委員	エピペンはどうでしょうね。
委員	救命はやっていますが、エピペンはやっていないのでは。
委員	4月当初にやった感じからすると、どうやってやるので

	<p>すか、という感じはあるので、大学では多分やっていないですね。</p>
委員長	<p>そうですか。教育大学でもやっているようなイメージなんですけど。ぜひ大学にも声をかけてやっていただくようにしていただくと良いかと。</p> <p>それでは他にないようでしたら議題3に進みたいと思います。</p> <p>議題の3は意見交換ということになっておりますが、これについて説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【資料に基づき説明】</b></p>
委員長	<p>今の事務局の資料に基づく説明がありましたが、これについて委員の方々から意見をいただければと思います。この要望はいつ頃の話ですか。</p>
事務局	<p>これは昨年の10月です。毎月アレルギーの資料を対象となる保護者に配付しており、除去食を食べる・食べないとか、無配膳への対応が記載された回答をいただいておりますが、10月のときに保護者から平等扱いや返金のコメントが書いてありました。この方はアレルギー面談を前倒し希望された方でしたので、本年2月に面談を行った際にも、改めてお話がありました。</p>
委員	<p>エビやカニの代替食は無いですよ。代わりに何か持ってきているのですか。</p>
事務局	<p>配膳ができないので、おかずが足りず空腹が予想される場合は、自分で弁当を持っています。</p>
委員長	<p>持ってきても構わないというふうになっていますね。これについては、本町でアレルギー対応制度が始まったとき、最初に保護者に説明しているという文書的なものはあるんですか。返金はしません、というようなことを書いたものが。アレルギーの対応してくださいと言ってやりますが、それについて町はこのように対応することになっています、ということは中に書いてありませんか。</p>
事務局	<p>聞いた話では、そうしたことが生じたとき、基本的には全部払っていただいて、返金はしませんという取扱いでや</p>

	っているということは聞いております。
委員長	保護者の方に、学校側はこのような方針でアレルギーを対応しますが、給食費の返金はしませんと書いてあったかと思っていました。新しい1年生にはアレルギーの対応について、このようにしますというのを出しますよね。そのときには金額のことは書いてなかったのでしょうか。それを踏まえて対応してくださいということがあれば、別に何も言われたい気はします。
委員	例えば献立を事前にもらって、この日は除去食で食べるから普通に給食費を払っても大丈夫だけど、食べるものがこの日は無理なときは、お弁当を持参することを事前に申請すればその日はマイナス1食とか、そういう事前に保護者からこの日は私は食べませんと。例えばラーケーションや学級閉鎖とか、そういうときは食べない分を引いてもらったりしていますが、それ以外の場合にそういったことはしていませんか。
事務局	ラーケーションや学級閉鎖等は日単位の話になりますので一食分を削っていますが、それ以外は行っていません。
委員	足りない分だけ補うように持っていくますが、若干食べてない分だけ引くのは難しいですね、材料費がどのくらいかかるのかというのがあります。ただし全て弁当にするとみんなと同じものを食べられない悲しさがあります。食べられるものはみんなと一緒に食べたいと思います。みんなの給食と違い、1人だけ弁当だと気持ち的には悲しいと思います。
委員	カニとかエビの給食は多いですか。
委員	カニはほとんどありませんが、エビは月に1回ぐらいあります。
委員長	そこだけ返金というのは変な感じですね
委員	卵の人は代替があるからそんなに出ないのかなと思いますが、それ以外だと食べられないからちょっと意見があると思います。
委員長	最初に納得していただいて、アレルギー対応をしてい

	く、ということですね。
委員	新1年生の面談のときに話はしています。今回要望があったのは中学生の保護者からです。長い間、そういう状態が続くと、そういうご意見もあるかと思います。義務教育で9年間ですから。
委員長	保護者の気持ちは分からない訳ではありませんが。牛乳は豆乳に変えて提供しているので、お金を返すことはないですね。
事務局	ありません。
委員	言いたいことはわかりますが、対応ができるかという と、難しいと思います。
委員	<p>こうしたお話があった経緯はわかりませんが、小学校の学校給食の無償化の話も出てきている中で、給食を全く食べず全部持ってくる方とか一部除去食の方とかいろんなお子様がいる中で、今回のこの案件は結構難しいと思います。</p> <p>例えば返金対応となった場合、自治体の交付されたお金を、小学校で食べてないから渡すかというとおそらくそういう動きにはならないのでは。そういった対応をしている市町は愛知県の中でもあるようですが、なかなかそのあたりは難しい話になってきます。となると、この小学校ではやっているが中学校でのどのような区分けにするのかも難しいのではないかと。その辺りは家族や本人に寄り添うところも大事だと思います。数字的に除去食の回数は増えている状況はしっかりお伝えした上で、という形になると思います。そこを中学生と小学生とか、この無償化について広く捉えた上で考えないと、より要望が強くなることもあるのでは。アレルギーのお子さんは、おそらくみんなと一緒にものを食べたくても食べられない点もあると思います。逆にエビが好きだからエビの給食を出して欲しいという要望の一方で、アレルギーの子がいるから出せないとなると、それも公平性が保たれてないという見方もできるので、どちらかに寄り添いすぎても難しい。味が質素になってしまうとか、コスト面だったりとか、作る側も色々と考</p>

	<p>えて作っていると思いますので、難しい案件だと思います。</p>
委員長	<p>私を知っている市町村で返金されているのは牛乳だけのところがありますが、副菜で1食ずつ返しているところは知りません。牛乳は代替食の対象になっていますので、全く乳を使わない除去食を展開しているところもあります。乳を入れないでホワイトシチューを作っているところは。全員がそういう給食を食べており、食べたことはありますが、ちょっと違いますね。味的にも違うし、それが全体でいいのかという問題もあると思いますし、一方で保育園とか幼稚園では卵が食べられない子に合わせて卵関係のものは一切出さないところもあります。</p> <p>そうすると家庭で卵を食べていけば良いのですが、卵を全く食べられなくなってしまうことも出てきています。食は怖い、そういうところが習慣づいていくこと、味を知るとかについては、少しマイナスになってきてるいところもあると思います。</p> <p>ですからこの豊山のやり方は、とてもいいやり方だと私は思っていますが、先ほど言いましたようにアレルギー対応をしてほしいというときに契約ではないんですが、こうしたことが基本であるということを、あらかじめ示しておく対応も、これからは大切だと思います。分かっているだろうという前提で話が進む時代ではない気がしますので、何か作っておくことが必要だと思います。近隣の市町村の状況を調査するということもありますので、調整していただければ。</p>
事務局	<p>委員長のおっしゃる通り、どこかで線引きは必要、本町は令和2年11月にマニュアルを策定し、令和3年度から運用しております。またそれ以降も、必要に応じて随時見直しをしてきております。アレルギーへの配慮は当然ですが、他のアレルギーではない子供との均衡も図る必要があると思います。</p>
委員	<p>本件は、うちの学校の保護者についてです。そんなに激しく言っているわけではなく、たまたま除去食があるときはいいんですけど、無配膳がその前の月と重なってしま</p>

	い、メモ程度に書かれたという感じで、先ほど所長も言われた通り、面談のときは何か言われることはありませんでした。
委員長	そう重く考えなくても大丈夫ということですね。
委員	はい。しかし、モヤモヤをしているかもしれないので、整理をした方がいいと思います。
教育長	少なからずそういう思いを持っていることは、今聞いても、確かに一理あるなと思います。今、委員長が言われたことを条件とすることも一つの方法だと思います。令和5年と令和6年、令和7年と除去食が倍になっています。これは乳、卵アレルギーがある児童生徒も、食べることができる給食が増えているということではありませんか。
事務局	除去食についてはそうですが、無配膳の給食のことを言っているのだと思います。
委員長	卵焼きの代わりに何かは違う給食を提供するわけではありません。
教育長	そうすると、なおさら分からない訳ではありませんね。
委員長	おかず一品の全てが卵とか、そういうおかずを少なくすればいいのかもしれない
委員	<p>厚焼き卵とかオムレツとか、そういう除去食ができないものはですね。もちろん卵はアレルギーじゃない子には食べさせたい食材ですので使いたいのですが、使う回数は月に1回にしようとか、回数は必ず決めて使うように配慮しています。</p> <p>卵ではなく先ほど言ったエビとか除去食にしていない食材もたくさんあるので、豊山町でアレルギーとなる全ての食材を月に1回にしようとか、そこまではなかなか難しいです。卵は月に1回ぐらいで止めようという努力・工夫はしています。</p>
教育長	行政側としては声なき声に耳を傾けてあげたいと思います。限界もあるのでしょうが。
委員	これが卵だけとか乳だけとかのアレルギーだったら、ま

	だ回数も減ると思いますが、卵と乳の両方のアレルギーとなると、玉子焼きが出た、パンが出たとなると、2回も無しになるので難しいのではないのでしょうか。
委員	ですので、余計そう思われるなと思いました。
委員長	小麦アレルギーの子供はいないですか。
委員	小学校にもいますが、そういう子は、小麦は一切食べられません。例えばハンバーグとかもでも小麦が入っていない食材を使うように努力をしていますが、全て小麦無しにすることはできません。
委員	タルタルソースとかも卵を使わないソースを使っていたでいて、ドレッシングにも卵が入っていないものとか。通常なら、卵が入っていきような物でも成分表で確認すると卵を使っていない物をすごく選んでくれています。そこに気づくと、すごくやってもらっていることが分かりますが、細かい資料ではなく、卵が入っているかどうかを欄中で見る程度の資料になると、そこまで努力していることがなかなか伝わりにくく分からないかもしれません。
教育長	発信の仕方を考えたかも知れません。そこまで努力をされているので。
委員長	知らせるのなら、細かくはなりますよね。
委員	お知らせで時々載せるのもいいかもしれません。給食の努力みたいなことを。  これは卵アレルギーの人にとっても勉強になります。情報でこういうのを使っていますということ知らせることは。
委員	以前に比べると、卵や乳を使わない製品も増えてきました。
委員長	それを使えばいいですね。味も整ってきたので使えるようになってきています。だから、その努力を知らせた方がいいかと思います。情報の発信というのはすごく重要なことだと思います。
委員	アレルギーのない子供からしても、そうだと思います。

	<p>私の子はタルタルが好きだったので、今日のタルタルは卵感が無かったと感想を言っていました。ただ、私が卵アレルギーのある子向けの卵無しソースであったことを伝えて、子供もそれが分かると、自分には物足りなかったが、みんなと一緒に食べられるソースだったと言っていました。理由が分かると、子供も受け入れることができ、アレルギーの子はこういうのが食べられないことも分かってきます。</p>
委員長	<p>思いやりが生まれますね。</p>
委員	<p>先生からその話を聞いたので、家に帰ってからこの間のチキン南蛮のときのタルタルはそういう意味だったと伝えたと、僕にはちょっと物足りないと感じたけどそのおかげで食べることができた子たちもいたと話していたので、食べることができる子、できない子、アレルギーへの理解を深めることができると思いました。</p>
教育長	<p>栄養教諭は難しいスケジューリングになると思いますが、学校を回られると思います。今、委員がおっしゃったのは、まさに新しい学習要領にある多様性の包摂のことで、みんなから認められる、給食もそういうことをやることにより、子供も分かると、思いやりやお互いを理解することに繋がります。</p>
委員	<p>全員に配る大きい献立表がありますが、字がいっぱい書ききれないんですが、タルタルソース(卵なし)と書いてあれば、そうなんだと思うかも知れません。どうやって発信すればいいか。</p>
教育長	<p>ひと手間かかりますが、やってくださっていることをお知らせしないと、豊山のそういう努力がもったいないという気がします。</p>
委員	<p>先日の議会の一般質問のときにも給食関係が出ていました。私も献立委員会等にも出席しているので、先生から話をよく聞いて、給食の献立を作る努力をすごく知ることができて本当に感謝をしています。給食は色々な人がすごく頑張っ努力してこんなに美味しいものが毎日食べることができることを、もっと発信して、みんなに知ってもらい</p>

	たいと思っています。
委員長	<p>本当に何かの形でそういうことができればと思います。また考えていただければと思います。</p> <p>ありがとうございましたいろんなご意見をいただきましたので、意見交換は終了します。</p> <p>それでは以上で本日の議題は終わらせていただきます。委員の皆様のご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
司会	<p>続きまして議題4のその他に移ります。</p> <p>今年度のアレルギー対応検討委員会につきましては今回が最後となります。ご審議をいただきましたことにありがとうございました。</p> <p>次回の検討委員会につきましては、また4月以降になりますけれども日程が決まりましたらご連絡をさせていただきたいと思います。また、人事異動等でまた後任の方を新たなとして委嘱したいと考えておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは以上をもちまして給食アレルギー委員会を終了いたします。本日はお忙しい中本当にありがとうございました。</p>